

はじめに

皆様におかれましては、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年度も学校保健会編集委員のご尽力により、「いびの子のからだ」第72号が刊行されました。

揖斐郡におきましても、全国的な少子化の波は避けられず、複式学級の設置や学校の統廃合が現実の課題となっています。こうした変化は単に教育体制の再編を意味するだけでなく、子どもたちの学びや生活環境、さらには地域社会のつながりにも大きな影響を及ぼします。児童生徒数が減少する中だからこそ、一人ひとりの健康や成長をこれまで以上に丁寧に見守り、支えていくことが必要です。

「いびの子のからだ」は、疾病・発育状況・体力テストなどの客観的なデータを通して、子どもたちの現在を把握する大切な資料です。今後、学校の形が変わっていくとしても、このような資料を基盤として、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの心身の健康を守り育む取り組みを継続していくことが何より重要です。

少子化という社会的課題の中でも、子どもたち一人ひとりの未来は地域の未来そのものです。本冊子が、その健やかな成長を支えるための道しるべとなることを願っております。

最後になりましたが、発刊にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和8年2月

揖斐郡学校保健会
副会長 金森 豊

□ 疾病・異常被患者数

— 小学校男子(年齢別) —

※被患者数が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力								矯正視力のみ測定者				眼の疾病・異常	難聴	耳鼻咽喉			歯・口腔							その他の疾病・異常	
		視力非矯正者の裸眼視力				視力矯正者の裸眼視力				矯正視力						耳疾患	患鼻・副鼻腔疾患・異常	口腔咽喉頭疾患・異常	むし歯(う歯)			D M F 歯数	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態		歯肉の状態
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満						計	処置完了者	ある者 未処置者の						
6歳	178	144	20	6	2	2	2	1		1				4		20	15	6	38	15	23		2				4
7歳	198	159	14	12	5	1	3	1	2	1				3	2	3	5		61	28	33		3		1		4
8歳	227	165	18	19	7	5	2	5	6					4	1	14	2		73	45	28		3		5		1
9歳	258	171	18	19	15	1	6	16	12					5		4	10		84	50	34		3		2		1
10歳	263	158	36	26	6	2	5	6	24					7		15	6	2	72	42	30		5		10	2	1
11歳	295	172	21	23	11	5	7	13	42					7		3	11	1	66	44	22	0.20	8		7	1	
郡計	1,419	969	127	105	46	16	25	42	86	2	0	0	0	30	3	59	49	9	394	224	170	0.20	24	0	25	3	11

項目	栄養状態		せき柱・胸部	皮膚疾患		結核	結核の精密検査対象者	心臓の疾病異常	心電図異常	蛋白検出者	尿糖検出者	寄生虫保有者	その他の疾病・異常							長成長の評価(成長曲線の異常)							
	栄養不良	肥満傾向		皮膚疾患	その他の皮膚疾患								ぜん息	糖尿病		腎性糖尿	腎臓疾患	言語障害	ギョー		食物アレルギー	キシナー	アナフィラ	その他の疾病・異常			
6歳		3	1	2				2	11	1			9					4	14	1	12						
7歳		4		1				5					5				1	8	15	2	21						
8歳		7		4				1		1			7					5	14	3	29						
9歳		3	1	4				3	8	1			6					3	18	4	38						
10歳		11	9	4				4					7					7	20	2	20	1					
11歳		6	5	3	1			4		3			5				1	3	13	1	21						
郡計	0	34	16	18	1	0	0	19	19	6	0		39	0	0	0	2	30	94	13	141	1					

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	1	10	11
7歳		22	22
8歳	2	25	27
9歳	4	35	39
10歳	6	36	42
11歳	15	37	52
郡計	28	165	193

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
ぜん息	気管支炎	アレルギー性皮膚炎	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎	食物アレルギー	アナフィラキシー
1	1	1	10	1	2	
		1	1	7	2	
		2		9	3	1
2	1		15	4	1	
	1	1	7	2	1	
1			7	1		
4	6	3	55	13	5	

視力			省略者数		
未受検者	検査者	検査者	眼科	耳鼻咽喉科	検査者
4	7	7			
4	7	7			



項目の意味をお伝えします。

【眼の疾病・異常について】 トラコーマ、流行性角結膜炎、流行性結膜炎、伝染性結膜炎、細菌性結膜炎、ウイルス性結膜炎、その他「伝染病」又は「感染症」と明記のある疾患と判定された児童、もしくは伝染性眼疾患以外の眼疾患・異常の児童の数です。
 また、視力低下の原因が明らかな眼疾患・異常による児童も含まれます。(網膜変性や緑内障は含まれますが、近視、遠視、乱視などは含まれません。)

□ 疾病・異常被患者数

— 小学校女子(年齢別) —

※被患者数が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力								矯正視力のみ測定者				眼の疾病・異常	難聴	耳鼻咽喉			歯・口腔							その他の疾病・異常		
		視力非矯正者の裸眼視力				視力矯正者の裸眼視力				矯正視力						耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	異常口腔咽頭疾患	むし歯(う歯)			D M F 歯数	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態		歯肉の状態	
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満						計	処置完了者	ある未処置歯の数							
6歳	200	150	23	10	2	1	4	7	3					5		28	13	5	52	16	36		5					4
7歳	183	143	16	11	3	2	2	5	1					4	2	3	2	2	59	25	34		5		1			3
8歳	215	150	18	16	6	3	8	6	7					5	2	8	2	3	77	37	40		2		1	1		1
9歳	223	149	20	19	7	2	3	6	17					6		4	9		81	32	49		1		2			
10歳	261	149	29	25	11	3	5	12	27					4	1	12	2		77	48	29		8		3			
11歳	253	142	12	20	12	1	3	23	39	1				4		4	11		48	27	21	0.24	10		2			1
郡計	1,335	883	118	101	41	12	25	59	94	1	0	0	0	28	5	59	39	10	394	185	209	0.24	31	0	9	1		9


項目	栄養状態		せき柱・胸部	皮膚疾患		結核	結核の精密検査対象者	心臓の異常	心電図異常	蛋白検出者	尿糖検出者	寄生虫保有者	その他の疾病・異常							成長曲線の評価(成長線の異常)								
	栄養不良	肥満傾向		皮膚アトピー性疾患	皮膚その他の疾患								ぜん息	1型	2型	腎性糖尿	腎臓疾患	言語障害	ギンギ		食物アレルギー	アナフィラキシー	その他の疾病・異常					
6歳		2	1	2	1			1	8		1		4						5	11	1	8						
7歳		2		4				4					7					1	1	11	2	8						
8歳		2		1				2					1					1	4	14	3	13						
9歳	1	2	17	2				1	7	3			5					2	3	13	2	13	1					
10歳		5	2	5	1			1		2	1		6						4	12	2	11	2					
11歳								2		2			4		1				2	19	4	13						
郡計	1	13	20	14	2	0	0	11	15	7	2		27	0	1	0	4	19	80	14	66	3						

一口メモ
男女ともに在児童数は減少していますが、食物アレルギーの児童は増加しています。それに伴って食物アレルギー用学校生活管理指導表対象者も増えています。

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	2	11	13
7歳		16	16
8歳	2	15	17
9歳	3	18	21
10歳	8	31	39
11歳	7	32	39
郡計	22	123	145

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
ぜん息	気管支炎	皮膚アトピー性疾患	アレルギー性結膜炎	食物アレルギー	アナフィラキシー	アレルギー性鼻炎
				8		
		1		8	2	1
				7	3	
			1	10	2	1
				8	2	1
		1		13	3	1
	4	0	3	54	12	4

視力未受検者	省眼科検診	省耳鼻咽喉科	省略者数	
			検査	耳鼻咽喉科
1				
1	0	0		

 **項目の意味をお伝えします。**

【難聴とは】 オージオメーターで、両耳とも1000Hzで30dB、又は4000Hzで25dB相当の音が聴取できない症状をいいます。

【耳疾患】 難聴以外の耳疾患・異常の児童です。

【鼻・副鼻腔炎疾患】 慢性副鼻腔炎(蓄膿症)や鼻炎、アレルギー性鼻炎(花粉症)等の鼻・副鼻腔炎疾患・異常の児童です。

【口腔咽頭疾患・異常】 口内炎、唇裂などのある人、アデノイド、へんとう肥大(軽微なへんとう肥大も含む)、へんとう炎、音声言語異常などの疾患・異常の児童を計上しています。

□ 疾病・異常被患者数

— 小学校男女合計(年齢別) —

※被患者数が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				眼の疾病・異常	難聴	耳鼻咽喉			歯・口腔												
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力						耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	異常口腔咽頭疾患	むし歯(う歯)			D M F 歯数	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	その他の疾病・異常				
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満						1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満							③ 0.3未満	計	処置完了者	ある者 未処置者の
6歳	378	294	43	16	4	3	6	8	3	1			9	48	28	11	90	31	59		7				8		
7歳	381	302	30	23	8	3	5	6	3	1			7	4	6	7	2	120	53	67		8		2	7		
8歳	442	315	36	35	13	8	10	11	13				9	3	22	4	3	150	82	68		5		6	1	2	
9歳	481	320	38	38	22	3	9	22	29				11		8	19		165	82	83		4		4		1	
10歳	524	307	65	51	17	5	10	18	51				11	1	27	8	2	149	90	59		13		13	2	1	
11歳	548	314	33	43	23	6	10	36	81	1			11		7	22	1	114	71	43	0.22	18		9	1	1	
郡計	2,754	1,852	245	206	87	28	50	101	180	3	0	0	0	58	8	118	88	19	788	409	379	0.22	55	0	34	4	20

項目	栄養状態		せき柱・胸部	皮膚疾患		結核	査対象者の精密検査	結核の異常	心臓の疾病	心電図異常	蛋白検出者	尿糖検出者	寄生虫保有者	その他の疾病・異常							成長の評価(成長曲線の異常)		
	栄養不良	肥満傾向		皮膚疾患	その他の皮膚疾患									ぜん息	糖尿病		腎性糖尿	腎臓疾患	言語障害	ギン		食物アレルギー	キシ
6歳		5	2	4	1				3	19	1	1		13					9	25	2	20	
7歳		8		5					9					12				2	9	26	4	29	
8歳		9		5					3		1			8				1	9	28	6	42	
9歳	1	5	1	6					4	15	4			11				2	6	31	6	51	
10歳		13	26	9	1				5		2	1		13					11	32	4	31	2
11歳		11	7	3	1				6		5			9	1			1	5	32	5	34	2
郡計	1	51	36	32	3	0	0	30	34	13	2			66	0	1	0	6	49	174	27	207	4

一口メモ
6年生のDMF歯数が、令和6年度より良くなっている。
肥満度-20以下の児童が増えている。

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	3	21	24
7歳		38	38
8歳	4	40	44
9歳	7	53	60
10歳	14	67	81
11歳	22	69	91
郡計	50	288	338

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
ん	気	性	ア	性	ア	ル
息	管	支	支	支	支	支
ぜ	ぜ	ぜ	ぜ	ぜ	ぜ	ぜ
1	1	1	18	1	2	
2	1	2	15	4	1	
	2		16	6	1	
2	1	1	25	6	2	
	1	1	15	4	2	
3		1	20	4	1	
8	6	6	109	25	9	

視力			省略者数		
い	未	省	検	耳	省
と	受	略	診	鼻	略
了	診	者	者	咽	者
者	者	者	者	頭	者
扱	扱	扱	扱	科	扱
1					
4	7		7		
5	7		7		



項目の意味をお伝えします。

< 歯・口腔について① >

【DMF歯数】小学校6年生の、永久歯一人平均むし歯経験歯数(処置歯+未処置歯+喪失歯)÷検査者数 で算出しています。
【むし歯(う歯)】乳歯又は永久歯がむし歯の人です。
【処置完了者】乳歯、永久歯を問わず、すべてのむし歯の処置が完了している人です。
【未処置者】乳歯、永久歯を問わず、むし歯の処置を完了していない人です。

□ 疾病・異常被患者数

一 中学校男子・女子(年齢別) 一

※被患者数が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔						永久歯のむし歯(う歯)等数													
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力					耳疾患	疾患・副鼻腔	口腔咽頭	むし歯(う歯)		D M F 歯数	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病・異常	その他の	計(本)	喪失歯数(本)	むし歯(う歯)								
		1.0以上	①0.7以上 ②0.3以上 ③0.3未満	1.0以上	①0.7以上 ②0.3以上 ③0.3未満	1.0以上	①0.7以上 ②0.3以上 ③0.3未満	1.0以上	①0.7以上 ②0.3以上 ③0.3未満					計	者処置完了のある者										未処置歯	計(本)	処置歯数(本)	未処置歯数(本)					
男子	12歳	305	170	15	33	17	1		4	28	5	9	18	3	4		16	4		58	21	37	0.24	2		2	2	5	104		104	42	62
	13歳	317	139	27	30	17	1	1	12	26	25	13	18	3	4		8	14	2	57	26	31	/	9		10	14	1	/	/	/	/	
	14歳	273	105	24	32	19		3	2	32	15	17	19	2	1		2	2		45	21	24	/	16		25	27		/	/	/	/	
	郡計	895	414	66	95	53	2	4	18	86	45	39	55	8	9		26	20	2	160	68	92	0.24	27		37	43	6	104		104	42	62
女子	12歳	262	123	23	26	15	1		10	29	7	11	10	6	1	1	7	1		58	27	31	0.43	2		3	4		123		123	55	68
	13歳	282	114	28	29	12	1	3	8	35	13	13	19	4	6		4	11		72	41	31	/	12		6	3		/	/	/	/	
	14歳	277	115	25	29	10	1	3	9	33	18	10	18	2						66	29	37	/	17		23	21		/	/	/	/	
	郡計	821	352	76	84	37	3	6	27	97	38	34	47	12	7	1	11	12		196	97	99	0.43	31		32	28		123		123	55	68

項目	栄養状態		せき柱・胸部	皮膚疾患		結核	対象者の精密検査	心臓の疾病異常	心電図異常	蛋白検出者	尿糖検出者	寄生虫保有者	その他の疾病・異常					成長の評価(成長曲線の異常)					
	栄養不良	肥満傾向		アトピー性皮膚疾患	その他の皮膚疾患								ぜん息	糖尿病		腎性糖尿	腎臓疾患		言語障害	食物アレルギー	キシリン	アナフィラキシー	その他の疾病・異常
														1型	2型								
男子	12歳		76	1				6	22	5	1	/	7				4	1	18	2	24		
	13歳		7	3				4	/	9	1	/	7	1					22	1	37		
	14歳		4	4				4	/	10	3	/	6	1	1	1			19	2	20		
	郡計		87	8				14	22	24	5	/	20	2	1	5	1		59	5	81		
女子	12歳		58	2				3	5	5	/	/	3			1	2		19	1	12		
	13歳	1	2	1				5	/	10	2	/	5				4		18	3	18		
	14歳		4		1			8	/	3	/	/	3				2		13		15		
	郡計	1	64	3	1			16	5	18	2	/	11			1	8		50	4	45		

項目	肥満度			
	-20以下	+20以上	総計	
男子	12歳	8	49	57
	13歳	7	47	54
	14歳	13	27	40
	郡計	28	123	151
女子	12歳	14	26	40
	13歳	9	28	37
	14歳	17	27	44
	郡計	40	81	121

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
息気管支ぜん	皮膚炎アトピー性	性アレルギー性	食物アレルギー	キシリン	アナフィラキシー	アレルギー性鼻炎
3			7	2		
			5	1	1	
1			4	2		
4			16	5	1	
	1		7	1		
1		1	4	2	1	
			2			
1	1	1	13	3	1	

視力		省略者数	
未受検者	検診者	眼科検診者	耳鼻咽喉科検診者
2			
5			
3			
10			
1			
3			
4			
8			



項目の意味をお伝えします。

<皮膚疾患>

【アトピー性皮膚疾患】アトピー性皮膚炎(眼瞼皮膚炎)と判定された生徒数です。

【その他の皮膚疾患】伝染性皮膚疾患、毛髪疾患、尋常性白斑、水いぼ(伝染性軟属腫)などアトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された生徒数です。

□ 疾病・異常被患者数

一 中学校男女合計(年齢別) 一

項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				眼の疾病・異常	難聴	耳鼻咽喉			歯・口腔						永久歯のむし歯(う歯)等数											
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力						耳疾患	患鼻・副鼻腔疾患	異常口腔咽喉頭疾患	むし歯(う歯)			D M F 歯数	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	疾病・異常	その他の	むし歯(う歯)							
		1.0以上	①0.7以上1.0未満	②0.3以上0.7未満	③0.3未満	1.0以上	①0.7以上1.0未満	②0.3以上0.7未満	③0.3未満						1.0以上	①0.7以上1.0未満	②0.3以上0.7未満								③0.3未満	計	処置完了者	未処置歯のある者	計(本)	喪失歯数(本)	計(本)	処置歯数(本)
12歳	567	293	38	59	32	2		14	57	12	20	28	9	5	1	23	5		116	48	68	0.34	4		5	6	5	227		227	97	130
13歳	599	253	55	59	29	2	4	20	61	38	26	37	7	10		12	25	2	129	67	62	/	21		16	17	1	/	/	/	/	
14歳	550	220	49	61	29	1	6	11	65	33	27	37	4	1		2	2		111	50	61	/	33		48	48	/	/	/	/		
郡計	1,716	766	142	179	90	5	10	45	183	83	73	102	20	16	1	37	32	2	356	165	191	0.34	58		69	71	6	227		227	97	130

項目	栄養状態		せき柱・胸部	皮膚疾患		結核	結核の精密検査対象者	心臓の疾病異常	心電図異常	蛋白検出者	尿糖検出者	寄生虫保有者	その他の疾病・異常				長成長線の評価(成長)					
	栄養不良	肥満傾向		皮膚アトピー性	その他の皮膚疾患								糖尿病		腎性糖尿	腎臓疾患		言語障害	アレルギー	病・異常	その他	
12歳			134	3				9	27	10	1	/	10			1	6	1	37	3	36	
13歳		1	9	4				9	/	19	3	/	12	1			4		40	4	55	
14歳			8	4	1			12	/	13	3	/	9	1		1	3		32	2	35	
郡計		1	151	11	1			30	27	42	7	/	31	2		2	13	1	109	9	126	

一口メモ

運動器検診の結果より、せき柱・胸部に異常があった生徒が令和5年を境に約3倍に増えた。
対象者数が減っているにもかかわらず、肥満度+20以上の生徒が増えている。

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
12歳	22	75	97
13歳	16	75	91
14歳	30	54	84
郡計	68	204	272

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数					
気管支ぜん	皮膚アトピー性	アレルギー性結膜炎	食物アレルギー	アナフィラキシー	アレルギー性鼻炎
3	1		14	3	
1		1	9	3	2
1			6	2	
5	1	1	29	8	2

視力			省略者数		
未受検者	検査した者	検査者数	眼科検査省略	耳鼻咽喉科省略	検査省略
3					
8					
7					
18					



項目の意味をお伝えします。

< 歯・口腔について ② >

【DMF歯数】 中学校1年生の、永久歯一人平均むし歯経験歯数(処置歯+未処置歯+喪失歯)÷検査者数で算出しています。

【歯肉の状態】 歯肉に炎症があり、専門医による診断が必要とされた生徒数です。

□ 疾病・異常被患率

— 男子(年齢別) —

※被患率が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				異常	眼の疾病	難聴	耳鼻咽喉頭			歯・口腔												
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力							耳疾患	腔鼻疾患	患異口腔咽喉頭疾	むし歯(う歯)			D M F 歯数	咬合	顎関節	状態の	歯肉の	その他				
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満							1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満							③ 0.3未満	計	者処置完了	の未処置者
		計	者処置完了	の未処置者																								
6歳	178	80.9	11.2	3.4	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6				2.2		11.2	8.4	3.4	21.3	8.4	12.9		1.1				2.2		
7歳	198	80.3	7.1	6.1	2.5	0.5	1.5	0.5	1.0	0.5			1.5	1.0	1.5	2.5		30.8	14.1	16.7		1.5		0.5		2.0		
8歳	227	72.7	7.9	8.4	3.1	2.2	0.9	2.2	2.6				1.8	0.4	6.2	0.9		32.2	19.8	12.3		1.3		2.2		0.4		
9歳	258	66.3	7.0	7.4	5.8	0.4	2.3	6.2	4.7				1.9		1.6	3.9		32.6	19.4	13.2		1.2		0.8		0.4		
10歳	263	60.1	13.7	9.9	2.3	0.8	1.9	2.3	9.1				2.7		5.7	2.3	0.8	27.4	16.0	11.4		1.9		3.8	0.8	0.4		
11歳	295	58.3	7.1	7.8	3.7	1.7	2.4	4.4	14.2				2.4		1.0	3.7	0.3	22.4	14.9	7.5	0.20	2.7		2.4	0.3			
12歳	305	55.7	4.9	10.8	5.6	0.3		1.3	9.2	1.6	3.0	5.9	1.0	1.3	5.2	1.3		19.0	6.9	12.1	0.24	0.7		0.7	0.7	1.6		
13歳	317	43.8	8.5	9.5	5.4	0.3	0.3	3.8	8.2	7.9	4.1	5.7	0.9	1.3	2.5	4.4	0.6	18.0	8.2	9.8		2.8		3.2	4.4	0.3		
14歳	273	38.5	8.8	11.7	7.0		1.1	0.7	11.7	5.5	6.2	7.0	0.7	0.4	0.7	0.7		16.5	7.7	8.8		5.9		9.2	9.9			
郡平均	2,314	61.8	8.5	8.3	4.1	0.8	1.3	2.4	6.8	1.8	1.5	2.1	0.3	1.7	0.3	4.0	3.1	0.6	24.5	12.8	11.6	0.22	2.1		2.5	1.8	0.8	

項目	栄養状態		胸部	せき	皮膚疾患	結核	査対象者	結核精密検査	心臓の疾患	常電図異常	者蛋白検出	尿糖検出	保寄生虫卵	その他の疾病・異常										成長の曲線
	栄養不良	肥満傾向												ぜん息	糖尿病		糖腎性疾患	腎臓疾患	障害言語	ル食ギ	ラアキナ	常疾その		
															1型	2型								
6歳		1.7	0.6	1.1				1.1	6.2	0.6			5.1					2.2	7.9	0.6	6.7			
7歳		2.0		0.5				2.5					2.5			0.5		4.0	7.6	1.0	10.6			
8歳		3.1		1.8				0.4		0.4			3.1					2.2	6.2	1.3	12.8			
9歳		1.2	0.4	1.6				1.2	3.1	0.4			2.3					1.2	7.0	1.6	14.7			
10歳		4.2	3.4	1.5				1.5					2.7					2.7	7.6	0.8	7.6	0.4		
11歳		2.0	1.7	1.0	0.3			1.4		1.0			1.7			0.3		1.0	4.4	0.3	7.1			
12歳			2.0	0.3				2.0	7.2	1.6	0.3		2.3			1.3	0.3	5.9	0.7		7.9			
13歳			2.2	0.9				1.3		2.8	0.3		2.2	0.3				6.9	0.3		11.7			
14歳			1.5	1.5				1.5		3.7	1.1		2.2	0.4		0.4	0.4	7.0	0.7		7.3			
郡平均		1.6	1.3	1.1	0.0			1.4	5.5	1.2	0.2		2.7	0.1		0.0	0.3	1.5	6.7	0.8	9.6	0.04		

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	0.6	5.6	6.2
7歳		11.1	11.1
8歳	0.9	11.0	8.4
9歳	1.6	13.6	15.1
10歳	2.3	13.7	16.0
11歳	5.1	12.5	17.6
12歳	2.6	16.1	18.7
13歳	2.2	14.8	17.0
14歳	4.8	9.9	14.7
郡平均	2.2	12.0	13.9

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
ん気性ア	性ア	性ア	ル食	ラア	性ア	性ア
息管支	皮膚	結膜炎	アレルギー	アレルギー	アレルギー	アレルギー
0.6	0.6	0.6	5.6	0.6	1.1	
	0.5	0.5	3.5	1.0		
	0.9		4.0	1.3	0.4	
0.8	0.4		5.8	1.6	0.4	
	0.4	0.4	2.7	0.8	0.4	
0.3			2.4	0.3		
1.0			2.3	0.7		
			1.6	0.3	0.3	
0.4			1.5	0.7		
0.3	0.3	0.2	3.3	0.8	0.3	

視力	省略者数	
	省眼	検査省略
いと受		
と検		
した		
者者		
1.4	2.4	2.4
0.7		
1.6		
1.1		
0.5	0.3	0.3



項目の意味をお伝えします。

- 【心電図異常】心電図検査の結果、異常と判定された児童生徒です。異常とは医師が心電図所見を見て、異常と判断したもの、又は精密検査を要する児童生徒をいいます。
- 【蛋白検出者】第一次検査の結果、尿中に蛋白が検出(陽性「+以上」又は擬陽性「±」)と判定された児童生徒です。
- 【尿糖検出者】第一次検査の結果、尿中に糖が検出(陽性「+以上」)と判定された児童生徒です。

□ 疾病・異常被患率

— 女子(年齢別) —

※被患率が0の場合は、空白で表示しています。


項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				異常の疾病	難聴	耳鼻咽喉頭			歯・口腔										
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力						耳疾患	腔鼻副鼻疾患	患口腔咽頭疾患異常	むし歯(う歯)			D M F 歯数	咬合列	顎関節	状態の歯垢	状態の肉	その他		
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満						1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満							③ 0.3未満	計
6歳	200	75.0	11.5	5.0	1.0	0.5	2.0	3.5	1.5			2.5		14.0	6.5	2.5	26.0	8.0	18.0		2.5				2.0
7歳	183	78.1	8.7	6.0	1.6	1.1	1.1	2.7	0.5			2.2	1.1	1.6	1.1	1.1	32.2	13.7	18.6		2.7		0.5		1.6
8歳	215	69.8	8.4	7.4	2.8	1.4	3.7	2.8	3.3			2.3	0.9	3.7	0.9	1.4	35.8	17.2	18.6		0.9		0.5	0.5	0.5
9歳	223	66.8	9.0	8.5	3.1	0.9	1.3	2.7	7.6			2.7		1.8	4.0		36.3	14.3	22.0		0.4		0.9		
10歳	261	57.1	11.1	9.6	4.2	1.1	1.9	4.6	10.3			1.5	0.4	4.6	0.8		29.5	18.4	11.1		3.1		1.1		
11歳	253	56.1	4.7	7.9	4.7	0.4	1.2	9.1	15.4	0.4		1.6		1.6	4.3		19.0	10.7	8.3	0.24	4.0		0.8		0.4
12歳	262	46.9	8.8	9.9	5.7	0.4		3.8	11.1	2.7	4.2	3.8	2.3	0.4	0.4		22.1	10.3	11.8	0.43	0.8		1.1	1.5	
13歳	282	40.4	9.9	10.3	4.3	0.4	1.1	2.8	12.4	4.6	4.6	6.7	1.4	2.1			25.5	14.5	11.0		4.3		2.1	1.1	
14歳	277	41.5	9.0	10.5	3.6	0.4	1.1	3.2	11.9	6.5	3.6	6.5	0.7				23.8	10.5	13.4		6.1		8.3	7.6	
郡平均	2,156	59.1	9.0	8.3	3.5	0.7	1.5	3.9	8.2	1.6	1.4	1.9	0.5	1.7	0.5		27.8	13.1	14.8	0.34	2.8		1.7	1.2	0.5

項目	栄養状態		胸部	せき柱	皮膚疾患		結核	査核対象者	結核精密検査	心臓の疾患異常	異常電図	出者白検	尿糖検	保寄生虫卵	その他の疾病・異常							の(成長の曲線)		
	栄養不良	肥満傾向			性皮膚疾患	その他の疾患									ぜん息	糖尿病		糖腎性疾患	腎臓障害	言語障害	ル食アレ		ラキシフィ	常疾・他の異常
																1型	2型							
6歳		1.5	0.5	1.0					1.0	5.5	0.5			4.5				2.0	7.0	0.5	6.0			
7歳		2.2		0.5					2.7		0.5			2.7			0.5	4.4	8.2	1.1	11.5			
8歳		3.3		1.9					0.5		0.5			3.3				2.3	6.5	1.4	13.5			
9歳		1.3	0.4	1.8					1.3	3.6	0.4			2.7				1.3	8.1	1.8	17.0			
10歳		4.2	3.4	1.5					1.5					2.7				2.7	7.7	0.8	7.7	0.4		
11歳		2.4	2.0	1.2	0.4				1.6		1.2			2.0			0.4	1.2	5.1	0.4	8.3			
12歳			1.0	0.8					1.1	1.9	1.9			1.1			0.4	0.8	7.3	0.4	4.6			
13歳		0.4	0.7	0.4					1.8		3.5	0.7		1.8				1.4	6.4	1.1	6.4			
14歳			1.4		0.4				2.9		1.1			1.1				0.7	4.7		5.4			
郡平均		1.7	1.1	1.0	0.08				1.6	3.7	1.0	0.1		2.4			0.0	0.4	1.5	6.8	0.8	8.9	0.0	

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	1.0	5.5	6.5
7歳		8.7	8.7
8歳	0.9	7.0	7.9
9歳	1.3	8.1	9.4
10歳	3.1	11.9	14.9
11歳	2.8	12.6	15.4
12歳	5.3	9.9	15.3
13歳	3.2	9.9	13.1
14歳	6.1	9.7	15.9
郡平均	2.6	9.3	11.9

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数					
ん気管支	皮膚炎	アレルギー性	アレルギー性	アレルギー性	アレルギー性
				4.0	
1.1		0.5	4.4	1.1	0.5
			3.3	1.4	
		0.4	4.5	0.9	0.4
			3.1	0.8	0.4
0.8		0.4	5.1	1.2	0.4
	0.4		2.7	0.4	
0.4		0.4	1.4	0.7	0.4
			0.7		
0.2	0.0	0.2	3.2	0.7	0.2

視力	省略者数	
いと受した者	省眼科	検査省略
0.5		
0.4		
1.1		
1.4		
0.4		



項目の意味をお伝えします。

【その他の疾病・異常】発達障がい、てんかん等、この調査のいずれの調査項目にも該当しない疾病及び異常の児童生徒です。

【学校生活管理指導表対象者数】アレルギー疾患を保有し、配慮・管理の必要な児童生徒のうち、学校生活管理指導表を活用し、該当項目において、担当医師から「ある」と診断された児童生徒です。対象者は各調査項目にも計上してあります。

□ 疾病・異常被患率

— 男女計(年齢別) —

※被患率が0の場合は、空白で表示しています。

項目	調査対象者数	裸眼視力				矯正視力のみ測定者				異常の疾病	難聴	耳鼻咽喉頭			歯・口腔												
		視力非矯正者の裸眼視力		視力矯正者の裸眼視力		矯正視力						耳疾患	腔鼻副鼻疾患	口腔咽頭疾患異常	むし歯(う歯)			D M F 歯数	咬合列	顎関節	状態の歯垢	状態の肉	その他				
		1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満	1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満	③ 0.3未満						1.0以上	① 0.7以上 1.0未満	② 0.3以上 0.7未満							③ 0.3未満	計	者処完了	の未処置者
6歳	378	77.8	11.4	4.2	1.1	0.8	1.6	2.1	0.8	0.3			2.4		12.7	7.4	2.9	23.8	8.2	15.6		1.9				2.1	
7歳	381	79.3	7.9	6.0	2.1	0.8	1.3	1.6	0.8	0.3			1.8	1.0	1.6	1.8	0.5	31.5	13.9	17.6		2.1		0.5		1.8	
8歳	442	71.3	8.1	7.9	2.9	1.8	2.3	2.5	2.9				2.0	0.7	5.0	0.9	0.7	33.9	18.6	15.4		1.1		1.4	0.2	0.5	
9歳	481	66.5	7.9	7.9	4.6	0.6	1.9	4.6	6.0				2.3		1.7	4.0		34.3	17.0	17.3		0.8		0.8		0.2	
10歳	524	58.6	12.4	9.7	3.2	1.0	1.9	3.4	9.7				2.1	0.2	5.2	1.5	0.4	28.4	17.2	11.3		2.5		2.5	0.4	0.2	
11歳	548	57.3	6.0	7.8	4.2	1.1	1.8	6.6	14.8	0.2			2.0		1.3	4.0	0.2	20.8	13.0	7.8	0.22	3.3		1.6	0.2	0.2	
12歳	567	51.7	6.7	10.4	5.6	0.4		2.5	10.1	2.1	3.5	4.9	1.6	0.9	0.2	4.1	0.9	20.5	8.5	12.0	0.34	0.7		0.9	1.1	0.9	
13歳	599	42.2	9.2	9.8	4.8	0.3	0.7	3.3	10.2	6.3	4.3	6.2	1.2	1.7		2.0	4.2	0.3	21.5	11.2	10.4		3.5		2.7	2.8	0.2
14歳	550	40.0	8.9	11.1	5.3	0.2	1.1	2.0	11.8	6.0	4.9	6.7	0.7	0.2		0.4	0.4		20.2	9.1	11.1		6.0		8.7	8.7	
郡平均	4470	60.5	8.7	8.3	3.8	0.8	1.4	3.2	7.5	1.7	1.4	2.0	0.4	1.7	0.3	3.8	2.8	0.6	26.1	13.0	13.2	0.28	2.4		2.1	1.5	0.7

項目	栄養状態		胸部	せき柱	皮膚疾患		結核	査核対象者	結核精密検査	心臓の異常	異常心電図	出者	蛋白	尿糖	保寄生虫卵	その他の疾病・異常							の(成長の曲線)				
	栄養不良	肥満傾向			性皮膚疾患	その他の皮膚疾患										ぜん息	1型糖尿病	2型糖尿病	尿性糖	腎臓疾患	腎臓障害	言語障害		アレルギー	ラキシファイ	常疾病	
6歳		1.6	0.5	1.1						1.1	5.8	0.5			4.8			2.1	7.4	0.5	6.4						
7歳		2.1		0.5						2.6					2.6		0.5	4.2	7.9	1.1	11.0						
8歳		3.2		1.8						0.5		0.5			3.2			2.3	6.3	1.4	13.1						
9歳		1.3	0.4	1.7						1.3	3.3	0.4			2.5			1.3	7.5	1.7	15.9						
10歳		4.2	3.4	1.5						1.5					2.7			2.7	7.6	0.8	7.6	0.4					
11歳		2.2	1.8	1.1	0.4					1.5		1.1			1.8		0.4	1.1	4.8	0.4	7.7						
12歳			1.5	0.5						1.6	4.6	1.8			1.7		1.0		6.6	0.5	6.2						
13歳		0.2	1.5	0.7						1.5		3.2	0.5		2.0				6.7	0.7	9.0						
14歳			1.5							2.2		2.4			1.6			0.5	5.8		6.4						
郡平均		1.6	1.2	1.1	0.1					1.5	4.6	1.1	0.1		2.5		0.0	0.4	1.5	6.7	0.8	9.3	0.04				

項目	肥満度		
	-20以下	+20以上	総計
6歳	0.8	5.6	6.3
7歳		10.0	10.0
8歳	0.9	9.0	10.0
9歳	1.5	11.0	12.5
10歳	2.7	12.8	15.5
11歳	4.0	12.6	16.6
12歳	3.9	13.2	17.1
13歳	2.7	12.5	15.2
14歳	5.5	9.8	15.3
郡平均	2.4	10.7	13.2

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)対象者数						
ぜん息	気管支炎	皮膚アレルギー	アレルギー性鼻炎	食物アレルギー	キナシイラ	アレルギー性鼻炎
0.3	0.3	0.3	4.8	0.3	0.5	
0.5	0.3	0.5	3.9	1.0	0.3	
	0.5		3.6	1.4	0.2	
0.4	0.2	0.2	5.2	1.2	0.4	
	0.2	0.2	2.9	0.8	0.4	
0.5		0.2	3.6	0.7	0.2	
0.5	0.2		2.5	0.5		
0.2		0.2	1.5	0.5	0.3	
0.2			1.1	0.4		
0.3	0.2	0.2	3.2	0.8	0.3	

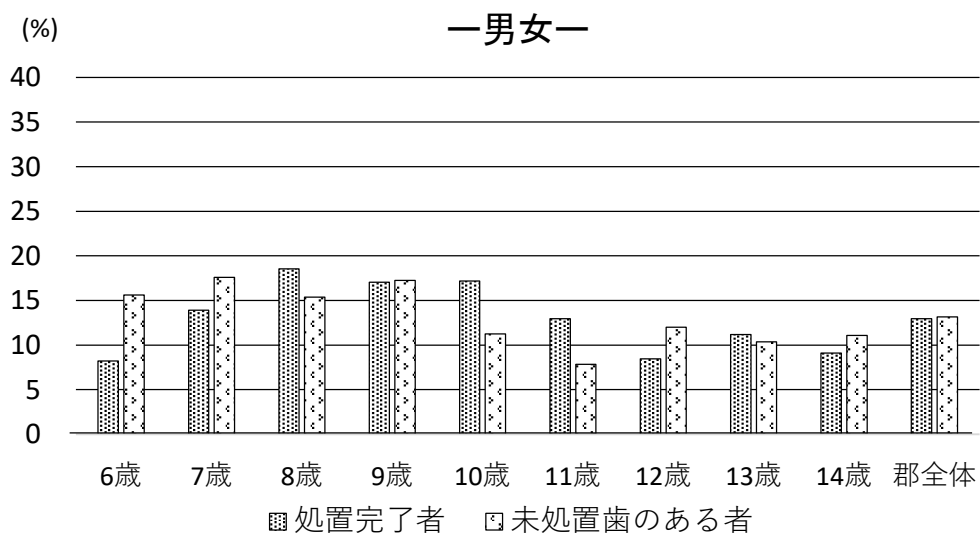
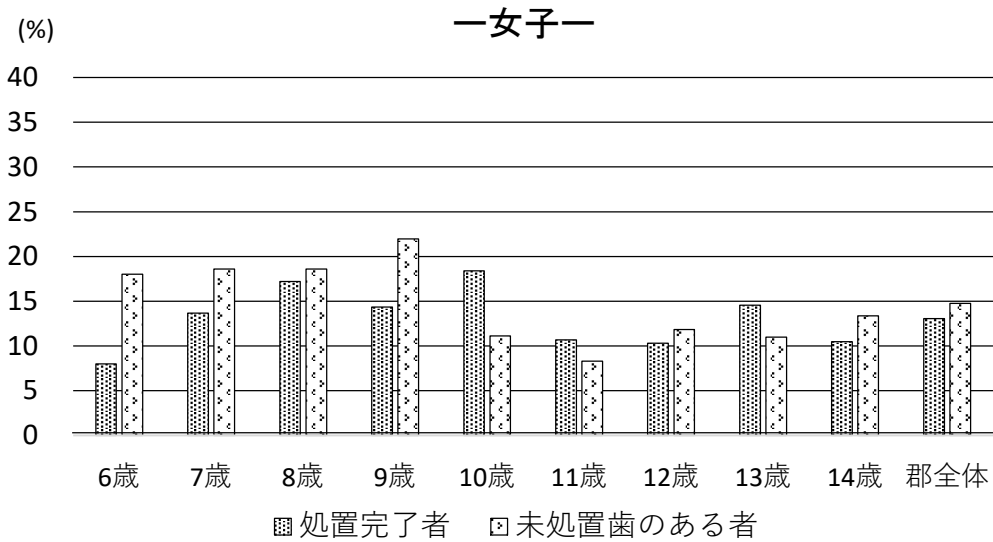
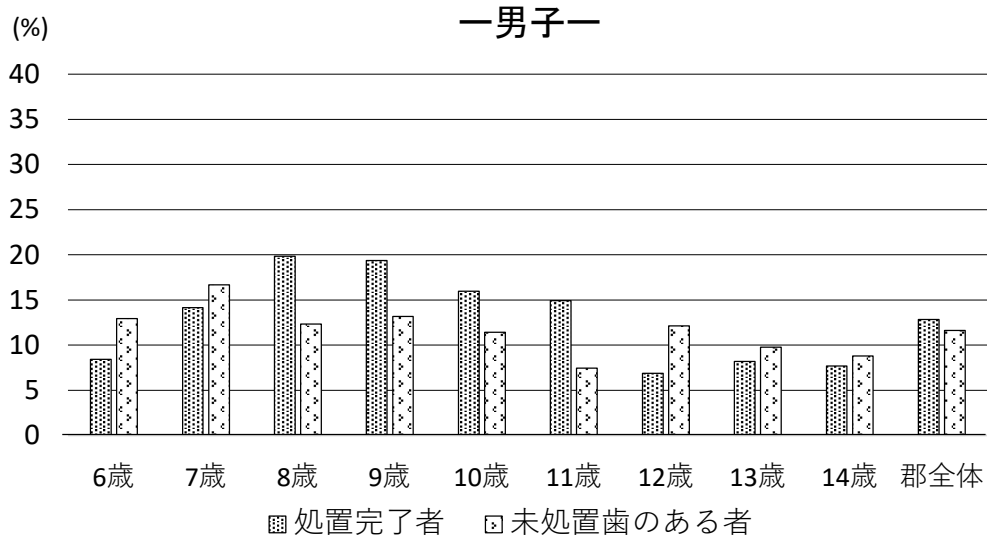
視力	省略者数	
いと受検した者	省眼科検査	検査省略
0.2		
0.7	1.3	1.3
0.5		
1.3		
1.3		
0.5	0.1	0.1



項目の意味をお伝えします。

【栄養状態】学校医により、栄養不良又は肥満傾向で、特に注意を必要とすると判定された児童生徒です。
 【せき柱・胸部】せき柱異常及び胸部異常、四肢の状態で専門医の受診が必要とされ判定された児童生徒です。
 【心臓の疾病異常】心膜炎、狭心症、心臓肥大、その他の心臓疾病・異常の児童生徒です。心音不順、心雑音及び心電図異常のみの児童生徒は含んでいません。

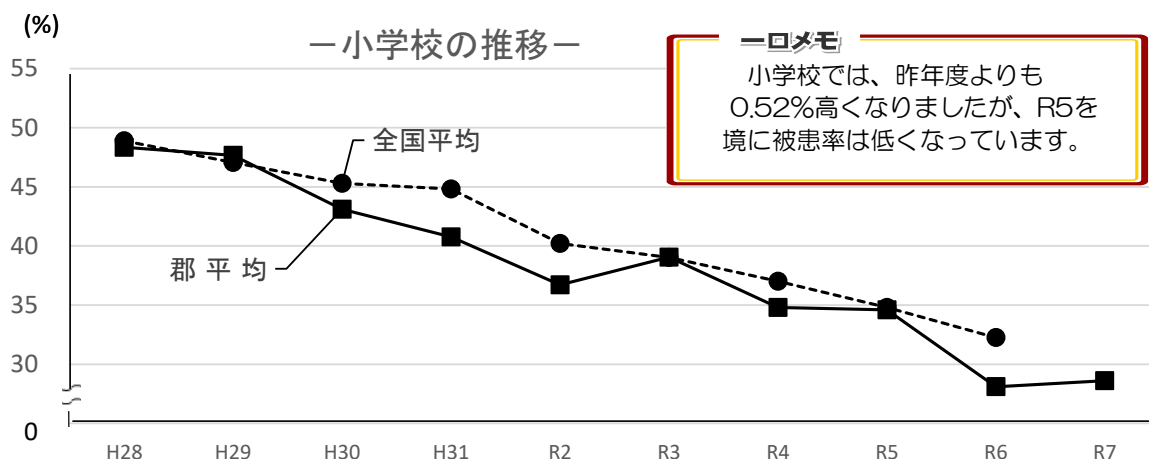
□ う歯罹患率(永久歯及び乳歯)



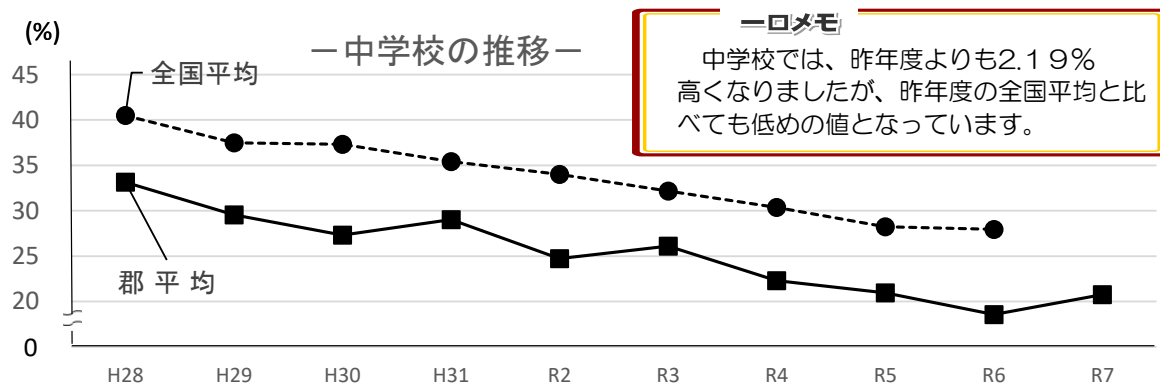
一口メモ

う歯罹患率は、在籍する児童生徒の中で、う歯がある者の割合を示しています。う歯被患者の内、未処置歯のある者は6～9歳に多く、その後は減少傾向にあります。しかし、12歳で再び増加する傾向があるため、小学生のうちから継続して歯科保健教育に努める必要があります。また、う歯罹患率が11歳頃に減少しているのは、乳歯の生え変わりによると考えられます。

□ う歯被患率(永久歯及び乳歯)の10年間の推移

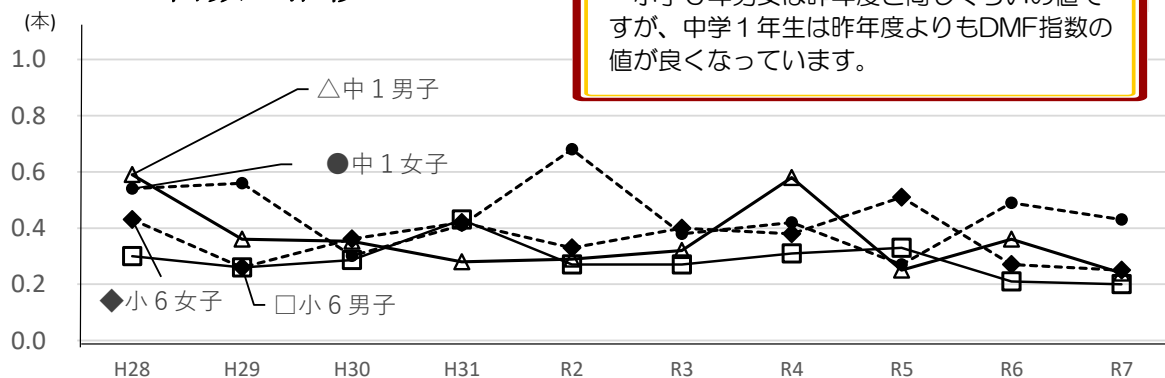


	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
郡平均	48.35	47.66	43.12	40.76	36.71	39.05	34.79	34.61	28.09	28.61
全国平均	48.89	47.06	45.30	44.82	40.21	39.04	37.02	34.81	32.25	



	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
郡平均	33.14	29.53	27.31	29.01	24.71	26.09	22.31	20.96	18.56	20.75
全国平均	40.49	37.49	37.32	35.41	34.00	32.16	30.38	28.24	27.95	

□ DMF歯数の推移



	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
□小6男子	0.30	0.26	0.29	0.43	0.27	0.27	0.31	0.33	0.21	0.20
◆小6女子	0.43	0.26	0.36	0.42	0.33	0.40	0.38	0.51	0.27	0.25
△中1男子	0.59	0.36	0.35	0.28	0.29	0.32	0.58	0.25	0.36	0.24
●中1女子	0.54	0.56	0.30	0.41	0.68	0.38	0.42	0.27	0.49	0.43

□ 令和7年度 発育の状況(年齢別)

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	
身長 (cm)	男子	116.4	122.8	128.8	133.7	139.7	146.4	153.6	160.6	166.5	
	女子	115.1	122.0	127.7	134.6	141.0	148.0	152.5	154.8	156.3	
	全国平均 (R6年度)	男	116.7	122.6	128.5	134.0	139.7	146.0	154.0	161.1	166.1
		女	115.8	121.8	127.7	134.1	141.1	147.8	152.3	155.0	156.4
体重 (kg)	男子	21.8	24.7	28.0	31.2	35.7	40.1	45.5	51.4	55.2	
	女子	21.1	23.8	26.5	30.5	35.2	40.2	44.8	47.9	50.1	
	全国平均 (R6年度)	男	21.4	24.2	27.6	31.2	35.2	39.6	45.3	50.5	55.0
		女	21.0	23.7	26.9	30.5	35.0	40.1	44.4	47.5	49.6

□ 平均値の推移

【身長】

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
男子 (cm)	H12	116.2	122.3	127.4	132.9	139.0	144.6	152.7	159.7	164.7
	H17	116.4	122.5	128.1	133.1	139.3	145.0	151.9	159.0	164.5
	H22	116.6	122.2	128.1	133.4	139.0	144.6	152.8	159.2	165.3
	H27	116.4	122.1	127.8	133.3	138.2	145.2	151.8	160.0	164.6
	R 1	116.1	122.5	128.7	133.4	139.5	145.2	152.3	160.5	165.1
	R 6	116.6	123.2	128.3	134.2	140.0	145.8	153.7	161.6	165.8
	R 7	116.4	122.8	128.8	133.7	139.7	146.4	153.6	160.6	166.5

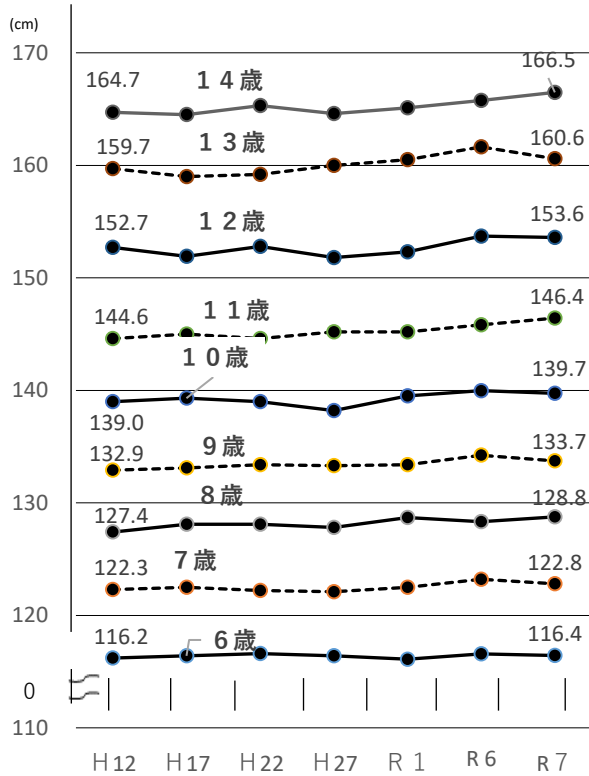
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
女子 (cm)	H12	115.7	121.2	127.2	133.1	140.2	146.3	152.1	154.8	157.0
	H17	115.7	121.4	127.2	133.0	139.6	147.4	151.7	154.3	156.0
	H22	114.9	121.4	127.1	133.7	140.1	146.9	151.7	154.8	155.6
	H27	114.9	121.7	126.9	133.1	140.0	145.9	151.5	154.8	156.1
	R 1	115.6	122.0	127.7	134.6	141.0	148.0	150.6	154.5	156.3
	R 6	116.2	122.0	127.7	134.6	141.0	148.0	152.5	154.9	156.1
	R 7	115.1	122.0	127.7	134.6	141.0	148.0	152.5	154.8	156.3

【体重】

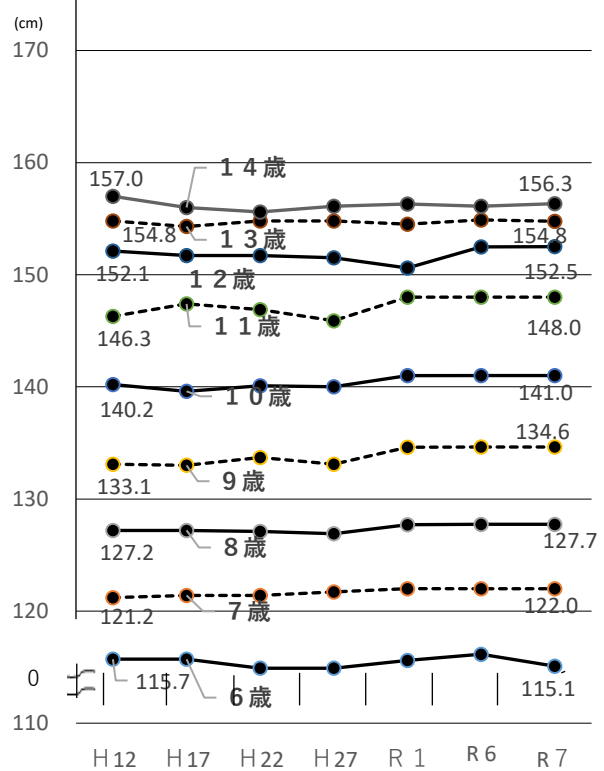
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
男子 (kg)	H12	21.8	24.0	27.2	30.8	34.7	38.7	45.0	50.3	55.7
	H17	21.6	24.4	27.1	30.1	35.0	39.3	43.9	49.0	54.8
	H22	21.5	24.2	27.7	30.5	35.0	39.3	44.4	48.9	53.9
	H27	21.6	24.0	26.9	30.7	33.9	38.4	44.2	50.4	54.7
	R 1	21.2	24.3	27.6	30.4	35.2	39.0	45.8	49.5	55.0
	R 6	21.6	24.7	27.4	31.2	35.6	39.8	45.6	51.3	55.6
	R 7	21.8	24.7	28.0	31.2	35.7	40.1	45.5	51.4	55.2

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
女子 (Kg)	H12	21.7	23.6	26.8	30.3	35.0	39.9	45.1	48.0	50.9
	H17	21.1	23.6	26.8	29.8	33.9	40.4	45.1	48.4	50.8
	H22	20.7	23.6	26.5	29.8	34.2	39.6	44.0	48.3	50.1
	H27	20.8	23.9	26.3	29.9	34.2	38.4	44.0	48.2	50.6
	R 1	21.1	23.7	26.5	31.0	35.6	38.9	43.8	46.9	49.6
	R 6	21.0	23.2	26.7	30.5	35.2	40.5	44.6	48.1	50.5
	R 7	21.1	23.8	26.5	30.5	35.2	40.2	44.8	47.9	50.1

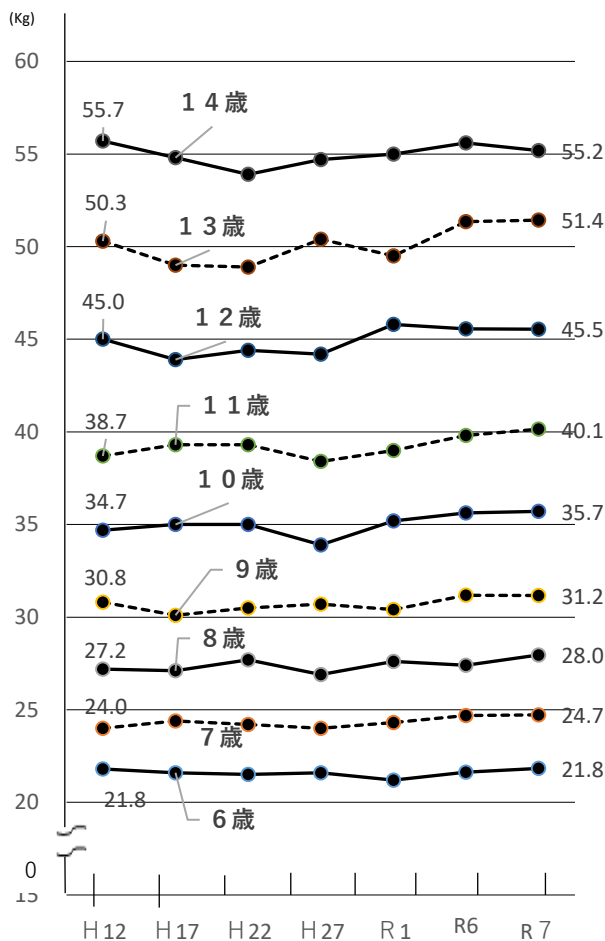
平均値の推移 - 男子・身長 -



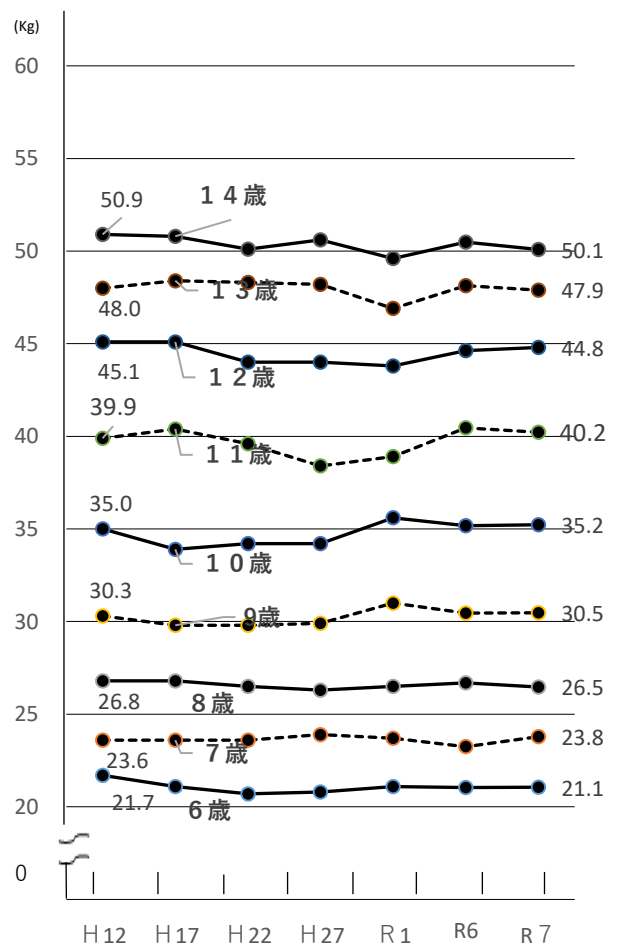
平均値の推移 - 女子・身長 -



平均値の推移 - 男子・体重 -



平均値の推移 - 女子・体重 -



身長・体重において男子・女子ともに学年によっては平成12年度から令和7年度にかけて年度による多少の変化はあるものの全体としてみると大きな変化は見られません。令和6年度の全国平均と令和7年度の揖斐郡の結果を比較すると学年差はありますが、男子・女子ともにほぼ全国平均並であると言えます。

□ 肥満度による体格のようす

令和7年度

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
男子	やせ	1.2%	0.0%	0.9%	0.8%	2.0%	3.6%	3.3%	2.9%	5.2%
	標準	90.7%	88.5%	86.4%	83.7%	80.1%	83.3%	80.9%	82.4%	85.4%
	軽度肥満	4.7%	5.2%	6.8%	7.6%	9.4%	5.3%	7.6%	5.1%	5.2%
	中等度肥満	2.9%	5.2%	3.2%	6.0%	7.8%	5.0%	6.9%	8.0%	2.6%
	高度肥満	0.6%	1.0%	2.7%	2.0%	0.8%	2.8%	1.3%	1.6%	1.5%

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
女子	やせ	1.0%	0.0%	1.5%	0.5%	2.8%	2.4%	5.7%	3.6%	6.6%
	標準	90.2%	91.6%	90.0%	89.5%	84.5%	85.0%	83.9%	87.1%	83.8%
	軽度肥満	5.2%	5.0%	5.5%	6.7%	7.9%	6.1%	6.1%	5.7%	5.1%
	中等度肥満	3.1%	3.4%	3.0%	2.9%	4.4%	4.9%	3.1%	2.9%	2.2%
	高度肥満	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	1.6%	1.1%	0.7%	2.2%

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
男女計	やせ	1.1%	0.0%	1.2%	0.6%	2.4%	3.0%	4.5%	3.2%	5.9%
	標準	90.4%	90.1%	88.2%	86.6%	82.3%	84.1%	82.4%	84.8%	84.6%
	軽度肥満	4.9%	5.1%	6.1%	7.1%	8.7%	5.7%	6.9%	5.4%	5.2%
	中等度肥満	3.0%	4.3%	3.1%	4.4%	6.1%	4.9%	5.0%	5.4%	2.4%
	高度肥満	0.5%	0.5%	1.4%	1.2%	0.6%	2.2%	1.2%	1.2%	1.8%

男女別、年齢別のやせ、標準、軽度肥満、中等度肥満、高度肥満の比率を男女の6～14歳の平均で、令和5年度、令和6年度、令和7年度を比較すると、

6～14歳のやせの比率の合計 令和5年度 1.91% 令和6年度 3.15% 令和7年度 2.43%

6～14歳の軽度肥満の比率の合計 令和5年度 5.41% 令和6年度 4.99% 令和7年度 6.12%

6～14歳の中等度肥満の比率の合計 令和5年度 3.81% 令和6年度 3.91% 令和7年度 4.28%

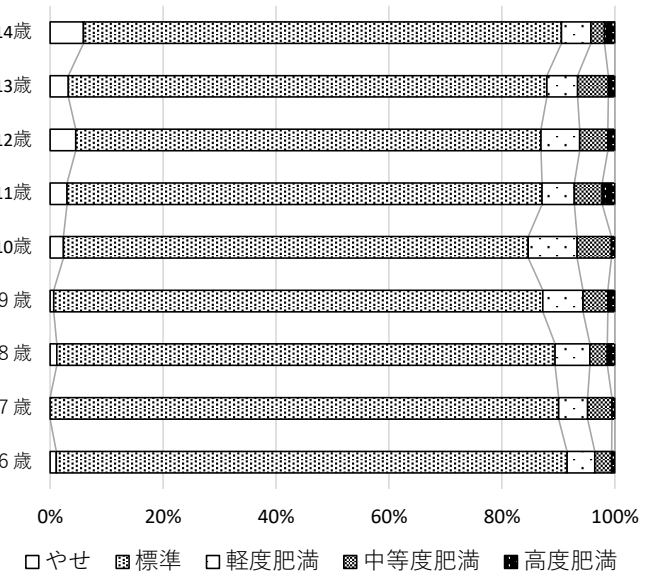
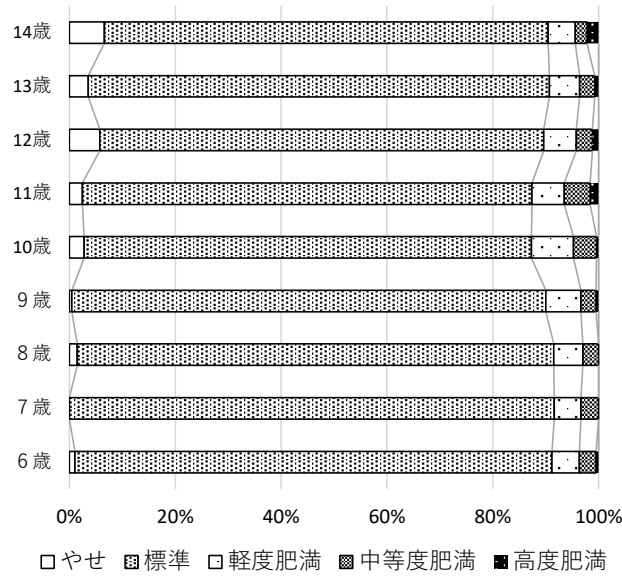
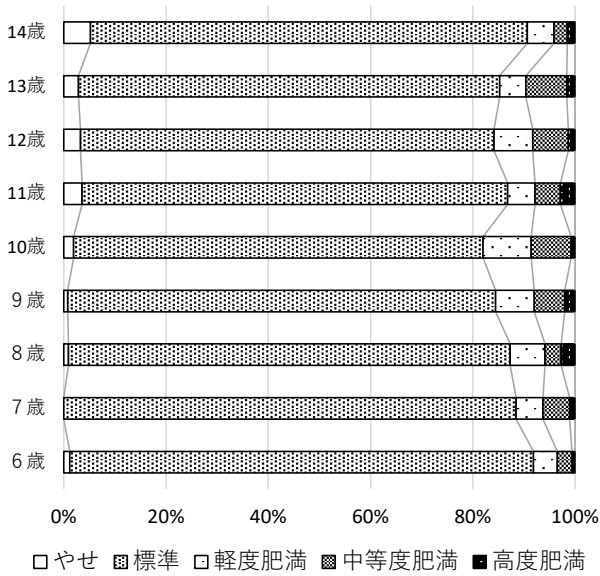
6～14歳の高度肥満の比率の合計 令和5年度 1.23% 令和6年度 1.30% 令和7年度 1.17%

となり、令和5～7年度を比較すると標準に入る児童生徒が R5年度87%、令和6年度87%、令和7年度86%と全体として大きな変化は見られない。ただ肥満度の割合で見ると令和7年度は軽度及び中等度の肥満の割合が増加している。一方で小学校に比べて中学校へ年齢が上がるにしたがってやせの比率が高くなっている。

男子

女子

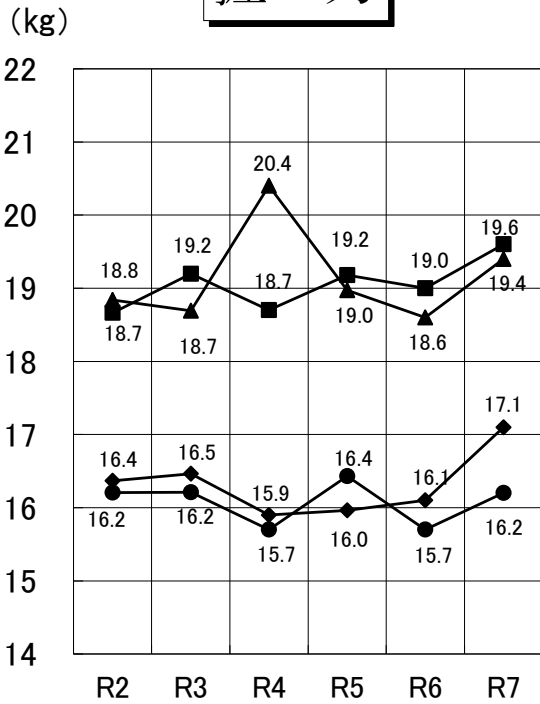
男女計



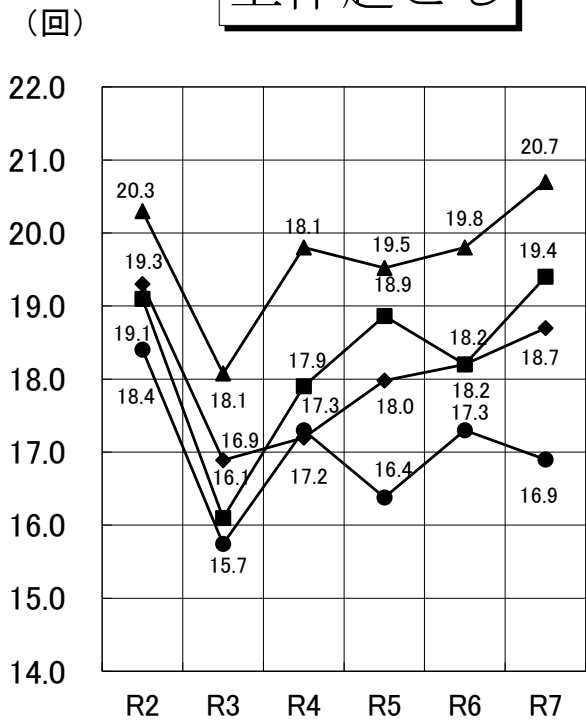
新体力テスト 郡平均の推移

◆ 5 学年男 ● 5 学年女 ▲ 6 学年男 ■ 6 学年女

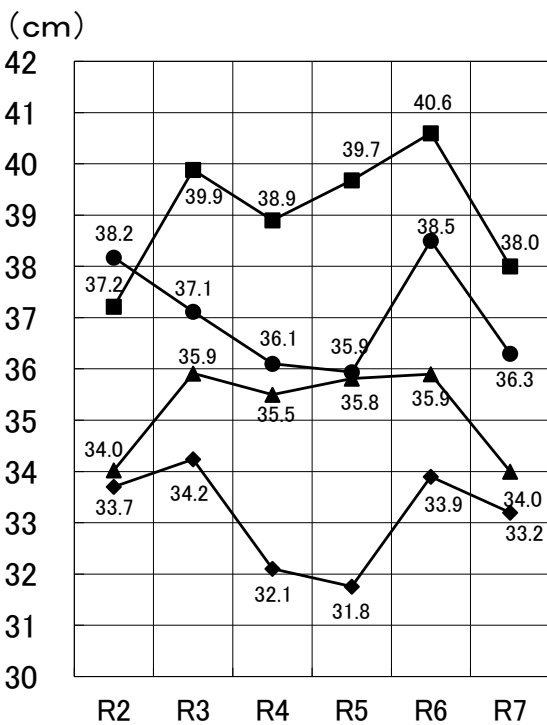
握力



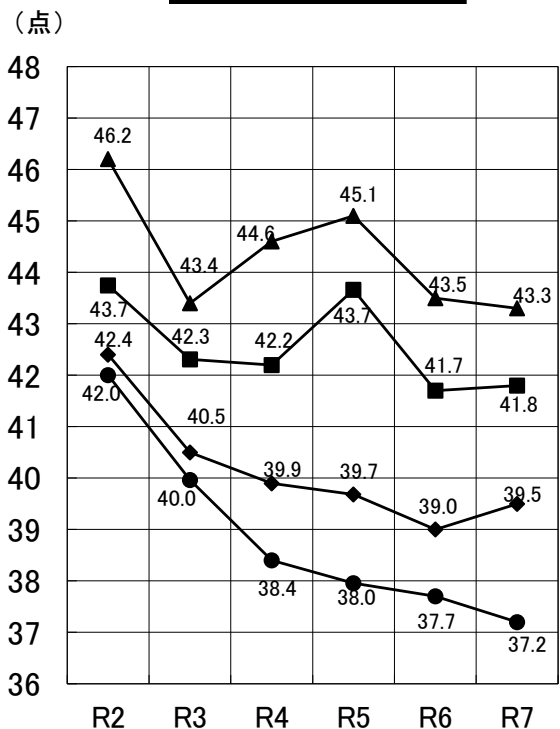
上体起こし



長座体前屈



反復横とび

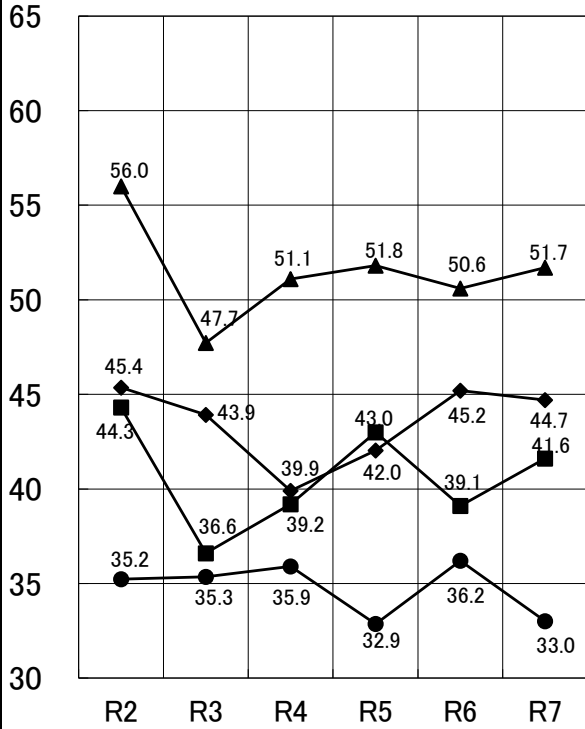


新体カテスト 郡平均の推移

◆ 5学年男 ● 5学年女 ▲ 6学年男 ■ 6学年女

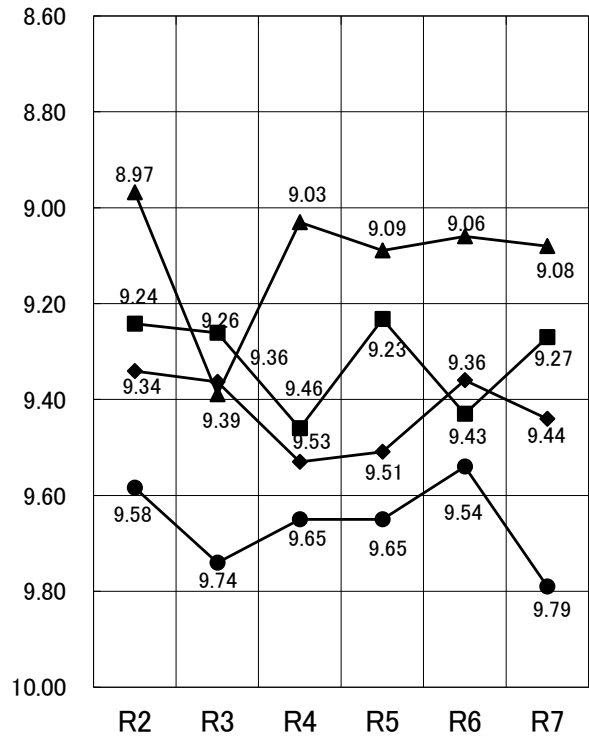
20mシャトルラン

(回)



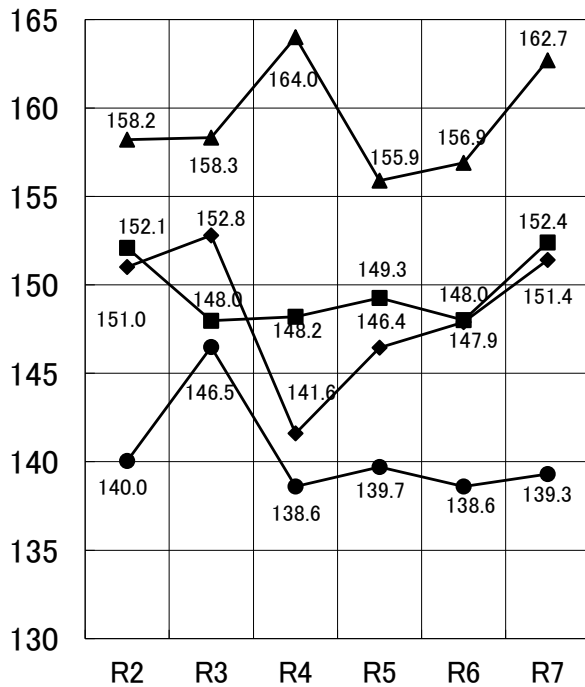
50m走

(秒)



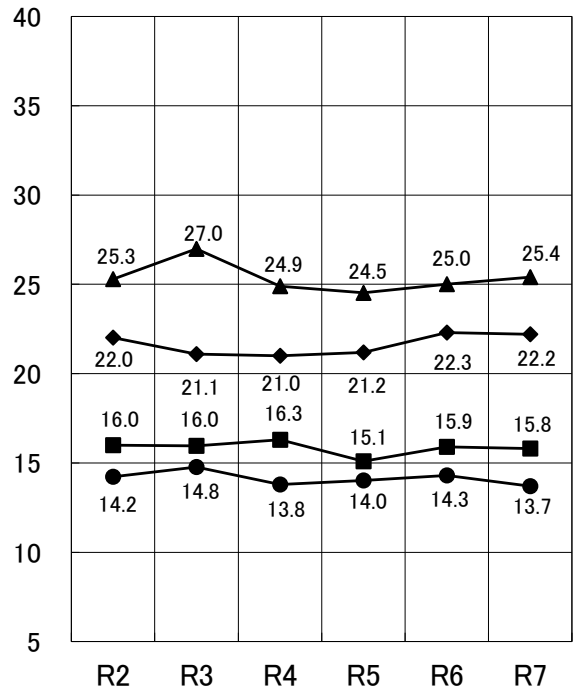
立ち幅とび

(cm)



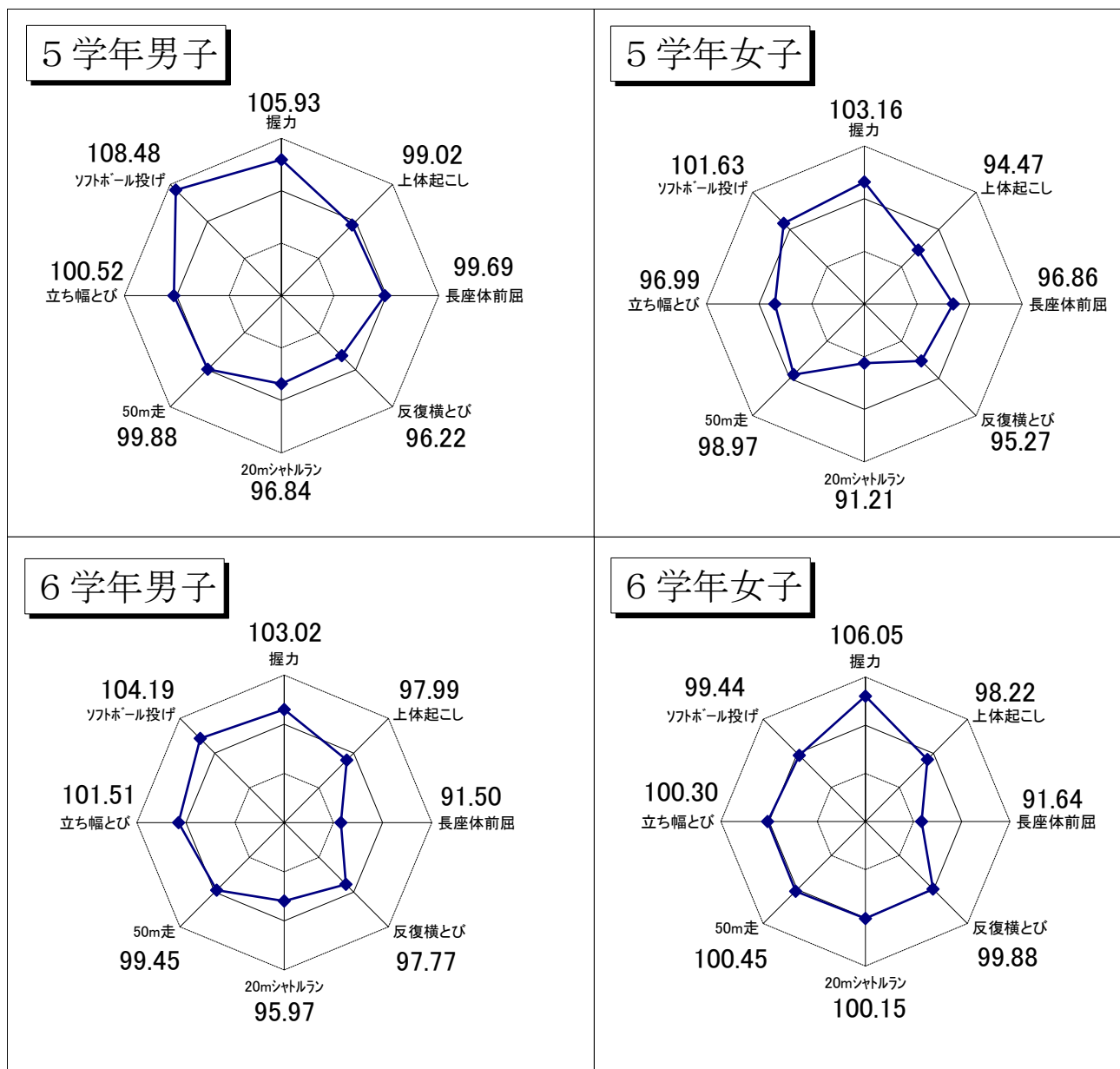
ソフトボール投げ

(m)



新体力テスト 県平均との比較と考察

- ・グラフ中の数字は県のデータを100とした時の指数を表す。
- ・計算式は、(郡平均) ÷ (県平均) × 100である。(県平均は令和6年度)
- ・ただし、50m走については、 $200 - (郡平均) \div (県平均) \times 100$ で計算する。
- ・どの種目も指数が大きいほど能力が優れていることとなる。



【結果と考察】

◇県平均と郡平均との比較より

- ・5 学年男子は、県平均レベルの運動能力に達していると考えられます。
- ・5 学年女子は「シャトルラン」、6 学年男女においては、「長座体前屈」が県平均を大きく下回りました。その他の種目は、県平均レベルの運動能力に近づいてきたと考えられます。

◇郡平均の推移より

- ・学年ごとにばらつきはあるものの、「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」はコロナ前の水準に戻りつつあります。「反復横とび」においては、下降が続いています。

以上のことから、今後は「全身持久力」「敏捷性」「柔軟性」を高める運動に力を入れていく必要があると考えます。

学校給食を通して主体的に望ましい食生活を実践できる児童生徒の育成を目指して

～野菜を活用した食育の推進～

揖斐郡栄養教諭・学校栄養職員部会

1. 主題設定の理由

第4次食育推進基本計画では、「1日あたりの野菜摂取量の平均値350g以上」を令和7年度までの目標値としている。しかし、学校給食での喫食の様子や残量調査から、児童生徒の野菜摂取量は目標値に達していないと予想された。このことから、野菜摂取量不足の改善を目指して、令和5年度より本題材を設定し、野菜を活用した指導に取り組んでいる。

1年次・2年次には、野菜を使用した献立作成を工夫し、発達段階や学習内容と関連させた体系的な指導を行ってきた。しかし、本務校で実施した残量調査結果から、副菜の残食率は増加しており、野菜を使用した料理の残量の減少につながっていないことが分かった。

そこで、3年次は、引き続き献立作成の工夫を行うとともに、学級担任との連携をさらに深め、継続的な指導を行うことで、学校や家庭で積極的に野菜を食べることができる児童生徒の育成を目指し、研究を進めることにした。

2. 研究仮説

地域で生産される野菜を中心に様々な野菜料理を計画的に給食に取り入れ、教材として活用した食に関する指導を体系的・継続的に行えば、野菜のよさが分かり、自らの健康や社会とのつながりを考えて積極的に野菜を食べることができる児童生徒を育成することができるであろう。

3. 研究内容

(1) 体系的・継続的な指導計画の工夫

①野菜を使用した献立作成の工夫

②発達段階や学習内容と関連させた指導計画の作成

(2) 野菜の必要性を理解し自らの食事に取り入れることができる児童生徒を育成する指導の在り方

- ①野菜と健康や社会とのつながりが分かる指導
- ②知識を実践力へつなげることができる指導
- ③家庭と連携した指導

4. 研究実践

(1) 体系的・継続的な指導計画の工夫

①野菜を使用した献立作成の工夫

1年次に本部会で交流した野菜を使用した料理を、今年度も継続して取り入れた。また、毎月19日の「食育の日」を中心に、地元でとれる様々な野菜を献立に使用するようにした。地元の食材の中には、児童生徒には馴染みのない野菜もあるため、人気メニューに使用したり、食べ慣れた料理・味付けにしたりすることで抵抗なく食べられるように工夫した。「食育の日」に取り入れた食材については、生産者や納品時の様子の写真を児童生徒に見せながら、生産者の苦労等について話すようにした。作ってくださった方や、食材のよさが分かることで、野菜を積極的に食べようとする姿や、苦手でも一口は食べようとする姿がみられた。

②発達段階や学習内容と関連させた指導計画の作成

1年次に設定した「学年ごとの目指す姿」に近づくよう、食に関する指導の全体計画に示した指導時期や指導方法、教材となる献立内容や使用食材等を見直し、指導を行った。

また、昨年度作成した、1日分の望ましい野菜の摂取量をプリントした指導用エプロンを、引き続き給食の時間の指導に活用した。毎回着用することで、「野菜を1日350g食べるって知っているよ」等と声をかけてくれる児童生徒が増え、量を意識して食べきる児童生徒の姿につながった。

(2) 野菜の必要性を理解し自らの食事に取り入れることができる児童生徒を育成する指導の在り方

①野菜と健康や社会とのつながりが分かる指導
ア. 教科と関連させた指導

小学校2年生生活科「やさいをそだてよう」と関連させた学級活動では、野菜の名前や、特徴、栄養だけでなく、1日分や1食分の望ましい野菜の摂取量について、実物の野菜を用いて、

指導を行った。指導後は、意欲的に苦手な野菜料理を食べようとしたり、野菜の摂取量を意識したりする姿がみられた。



また、中学校2年生家庭科「中学生に必要な栄養を満たす食事」では、夕食1食分の献立を立てる学習を行った。その際に、野菜を多く食べるための工夫や、野菜の中でも特に緑黄色野菜が不足しがちであることについて伝えた。その後、生徒が実際に献立作成を行う際には、彩りとして緑黄色野菜を加えたり、火を通してかさを減らしたりする等の工夫をして、野菜を積極的に取り入れようとする姿がみられた。

イ. 地場産物を活用した指導

自分が暮らす町や県について学習する小学校3・4年生社会科と関連させ、生産者へ取材を行い、地元でとれる野菜や生産者についてまとめ、掲示資料や、給食の時間の放送で紹介した。

②知識を実践力へつなげることができる指導

小学校6年生対象の「家庭の食育マイスター」や岐阜県学校給食会主催の「私が考えた学校給食メニューコンクール」、中学生対象の「中学生学校給食選手権」を活用し指導を行った。

小学校6年生では、野菜についての知識を深められるよう、家庭での取組を示した段級表を用いて学級担任等と一緒に児童の実践を促した。学級担任等と連携を密に図ることで、学級担任等から児童へ指導を行う機会が増加した。その結果、児童は取組への意欲が高まり、継続した取り組みが行われるようになった。結果の一例として、「私が考えた学校給食メニューコンクール」への応募率が増加した。

令和5年度	令和6年度	令和7年度
19.5%	37.1%	38.2%

表1 私が考えた学校給食メニューコンクール応募率の推移

中学校では、家庭科担当教諭や給食主任、栄養教諭等が応募を促したり、献立作成の相談を

栄養教諭等が行ったりしたことで、「中学生学校給食選手権」への応募校が増えた。今後、応募献立を給食へ取り入れることで、次年度以降の取り組みにつなげていきたい。

③家庭と連携した指導

ア. たよりの活用

献立表等、家庭へ配布するたよりに、野菜摂取の必要性や摂取量、野菜を使った給食や親子で作る料理のレシピを継続的に紹介した。年に2回発行している「えいようだより」には、二次元コードをのせてアンケートがとれるようにし、次号の内容に生かせるよう工夫を行った。

イ. ワークシートの活用

小学校で行う食に関する指導の際には、学級担任等から保護者に、食に関する指導の内容を知らせ、ワークシートなどに保護者からのコメントを記入してもらう等、児童の実践に各家庭の協力をいただいた。「おうちでもがんばって食べてたね。」「この頃食べようがんばってるね。」

「おかあさんも、野菜料理がんばるね。」等、親子共に変容がうかがえるコメントがみられた。しかし、給食での野菜摂取においては、残量調査の結果に効果はみられなかった。

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
6月	11月	6月	11月	6月	11月
4.2%	5.3%	5.3%	4.8%	6.3%	5.7%

表2 副菜の残食率の推移

5. 成果と課題

(1) 成果

目指す姿を明確にし、食に関する指導の全体計画を見直したことで、各学年の学習内容と関わりをもたせ、教材となる献立を用いて効果的な時期に指導することができた。そのため、野菜を摂取しようとする意欲がみられるようになった。

(2) 課題

指導直後は苦手な野菜の摂取へ導くことができたが、継続して野菜を摂取するには至らず、野菜料理の残食率の数値は改善されなかった。変容した姿が継続するためには、継続した指導が必要である。そのために、学級担任等と連携を図った指導を今後も行っていきたい。

令和7年度 保健関係表彰の記録

1 揖斐郡学校保健会功労者表彰者

ご役職	ご芳名
学校歯科医	林 亮介 様
学校歯科医	安藝 弘泰 様
学校歯科医	杉原 紳介 様
学校薬剤師	後藤 恒征 様

2 歯の健康優良児童表彰

学校名	歯の健康優良児童 <対象は小6> (敬称略)	
揖斐小学校	小倉 拓実	小森 愛七
大和小学校	山川 穂乃加	窪田 一紘
北方小学校	河瀬 寛大	増元 湊人
清水小学校	高木 優里香	武藤 楓奈
小島小学校	細野 真那	松尾 綺来
谷汲小学校	鈴木 魁星	鳥越 心陽
大野小学校	國枝 由依	藤田 悠斗
北小学校	田宮 菜々	松井 なつみ
西小学校	堀 遼美智	
中小学校	一柳 圭	中野 葉月
南小学校	加納 共喜	林 美遼
東小学校	柏原 沙耶	加藤 椰
温知小学校	坂 真輔	小林 優衣
八幡小学校	須網 檜斗	西田 琉夏
宮地小学校	高橋 愛花	向笠 陽愛
池田小学校	中村 皇耶	鳥本 美結
養基小学校	香田 征之介	野原 百朔
揖斐特別支援学校		

※令和7年度は各校より2名の歯の健康優良児童を推薦する形で各校で表彰を行い、郡教育研修総会リーフレットで紹介し、郡歯科医師会会長様にご講評をいただいた。

3 揖斐郡学校環境衛生活動表彰

賞	学校名
最優秀校	大野町立 南小学校
優秀校	揖斐川町立 小島小学校
優秀校	池田町立 八幡小学校
優秀校	揖斐川町立 谷汲中学校
特選校 (R5 最優秀校)	大野町立 大野中学校
特選校 (R6 最優秀校)	池田町立 温知小学校

あとかき

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果によると、「体力合計点は、小中学校男女ともに前年度から向上しているが、中学校男子を除いてコロナ前の水準に至っていない。」とあります。コロナ禍での外出や運動種目の制限等がいまだに影響されていることが分かります。

今年度の揖斐郡学校保健研修総会では、中部学院大学 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科教授 有川 一 様より「児童生徒の体力・運動能力の維持・向上」という題でご講演いただきました。有川様は、その原因は日常生活にあり、体育以外の運動量が減少したからだと話されました。また、運動だけでは不十分な時代であり、運動をしてもそれ以外の時間が座りっぱなしでは、様々な病気のリスクは十分に下がらないと話されました。しかし、30分に1回ほんの2～3分立ち上がり伸びをしたり足踏みをしたり、授業中に立って音読したり、立ったまま交流を行ったりすることで、体力を向上させるだけでなく、脳の活性化にも繋がることを教えていただきました。体力や運動能力の維持・向上に努めることは、生涯にわたって必要な体と心の健康、さらに脳の活性化を養うことに繋がっていきます。次代を担う児童生徒の健全な育成のために、今、私たちに何ができるのかを考え、日々の指導に工夫して取り入れていただくことを望みます。

さて、今年度も揖斐郡内の保健主事、体育主任、養護教諭、栄養教諭の先生方のご尽力により、ここに「いびの子のからだ」第72号を発刊することができましたことを、心よりお礼申し上げます。

児童生徒の健やかな成長を願う上で、学校保健の充実は欠かすことができないものです。本冊子は、揖斐郡の児童生徒の心身の状況の変化を長年にわたり把握することができる大変貴重な資料です。今後も、各校の学校保健、健康教育の向上のために活用していただけることを願っています。

令和8年2月

いびの子のからだ編集委員長 高見 恵美子

揖斐郡学校保健会

会 長	郡医師会会長	野田 宜輝
副会長	郡歯科医師会会長	保坂 松治
副会長	郡薬剤師会会長	金森 豊
副会長	郡教育会会長	高橋 利行
理 事	郡PTA連合会会長	林 利希也
理 事	郡学校保健会担当校長	馬淵 尚美

いびの子のからだ編集委員

理事	養護教諭部会顧問校長	高見 恵美子
理事	保健主事部会部長	中 悦子
理事	養護教諭部会部長	仲井 有記
理事	養護教諭部会代表	鷲見 麻里奈
理事	小学校体育主任会代表	遠山 稚奈
理事	栄養教諭・学校栄養職員部会部長	今村 萌々果

理事	揖斐川町教育委員会学校保健担当	中島 小百合
理事	大野町教育委員会学校保健担当	武藤 彩乃
事務局	揖斐郡学校保健会事務局	中村 孝広

(敬称略)